

提言者研修会を終えて

R5.2.17

広報部

令和5年1月21日(土)、第65回全国公立学校教頭会研究大会石川大会・提言者研修会が石川県金沢市の金沢商工会議所会館をホスト会場として、オンライン形式で行われました。

各分科会の提言者や助言者、全公教の役員・事務局、次年度及び次々年度開催県事務局(高知県、茨城県)、石川大会実行委員会を含め約90名が参加しました。

前半は全体会を開催し、全公教 漆崎英二会長からのご挨拶、続いて石川大会実行委員会 柳瀬道雄実行委員長より挨拶がありました。その後、「石川大会の意義」について全公教 早川洋一郎研究部長からご説明があり、最後に、石川大会実行委員会より「石川大会の概要」、「研究主題・サブテーマ・研究協議の視点」等について解説がありました。



後半は7つの会場にわかれて分科会を開催し、ブレイクアウトルームにて提言内容の協議が行われました。どの分科会においても学校や副校長・教頭が抱える課題および当日に話し合う「協議の柱」について、活発な議論が交わされました。また、助言者の方から多くのご教示をいただき、本番のイメージを持つことができたと考えます。



ご参加いただいた皆様のお陰で、実り多き提言者研修会となりました。お忙しい中ご参加いただき、誠にありがとうございました。8月3日(木)4(金)の本大会に向けて、引き続き皆様のお力添えをよろしくお願い致します。

